

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
サービスの質の向上	・勉強会の実施 「虐待防止への取り組み方」	P.33	9月28日開催 サービス事業者職員29名参加	参加者にとって、スタッフの日頃の利用者への接し方を振り返る機会となった。 (その他、多くの感想・意見あり) 総じて、虐待防止についての認識と理解を深める機会だった。	終了・継続 → 同じ・変更	虐待防止は、事業者に対して、職員への研修の実施や委員会の設置が義務化されたので、次年度以降は各事業所での取り組みに委ねる。 次年度は障害者差別解消について学ぶ機会を設ける。
	・事例検討 「親亡き後の権利擁護」 (権利擁護センター参加)	P.22	11月9日開催 22名参加 親亡き後や、本人の高齢化にあたり、支援者として成年後見制度の利用等、権利擁護センターとの連携を学ぶ。	親亡き後について、どのように支援していくか事例検討を行ったり、成年後見制度の仕組みや、相談のタイミングなどを学ぶことが出来た。	終了・継続 → 同じ・変更	親も本人も高齢化している今、本人の権利を守る為にも後見については支援者が勉強を続けていくことで、まだまだ周知できていない情報を必要な人に伝えることが出来る。
	・事業所見学会の実施	P.38	11月実施 見学受入れ55事業所参加	他事業所の内容を見学することや、ライフステージの中で必要な見学することで、環境の工夫や、支援での学びがあった。	終了・継続 → 同じ・変更	来年度は年2回を想定し、事業所と保護者や学校等を対象に見学会を行う。目的は事業所間は横のつながりと連携、保護者や学校向けは事業の周知啓発とする。

<p>地域生活、自立した生活の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇活動の場を作る ・家族支援 本人、家族が相談や話ができる機会を設け、地域とのつながりを作る 	<p>P.47</p>	<p>「にじカフェ」開催 ・第3回7月28日実施「親子で就労体験」 参加者：7組の親子と9名</p>	<p>7月の「にじカフェ」でおこなった「親子就労体験」は、作業体験と事業所のスタッフに相談ができたことで子どもの作業能力を確認できた。また、相談もできる場だったので、サービス事業者の情報を知る機会になった。</p>	<p>終了</p> <p>・ 継続 → 同じ ・ 変更</p>	<p>第3回連絡会担当スタッフ、参加保護者から好評であったので、来年も夏休み中での開催を予定する。</p>
<p>障がいに関する理解促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者が通う日中活動系事業所ガイドブックの更新 	<p>P.32</p>	<p>各連絡会の部会担当で話し合い、掲載内容や、色、文字帯などを統一した。</p>	<p>市民の皆様に見やすいガイドブックに仕上げることができた。サービス事業所及び、関係機関に3月以降で配布予定。</p>	<p>終了</p> <p>・ 継続 → 同じ ・ 変更</p>	<p>来年度からは、新規事業所や、記載情報の変更があった箇所のみ、修正していく。</p>

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更